

NEWS RELEASE

No. 21-7

2021年7月12日

(公財)損害保険事業総合研究所

損保総研レポート第135号を発刊し、以下のレポートを掲載しました。

◆ **ASEAN 主要国の損害保険市場の動向**
—新型コロナウイルス感染症により加速するデジタル化を中心に—

公益財団法人 損害保険事業総合研究所（理事長 堀 真）では、研究員による調査研究の発表の場として機関誌「損保総研レポート」を定期刊行しています。

今号（第135号）では、次のレポートを掲載するとともに、海外の金融・保険市場の動向を紹介しています。

<レポート>

◆ 『ASEAN 主要国の損害保険市場の動向
—新型コロナウイルス感染症により加速するデジタル化を中心に—』

（主席研究員 飯野 由佳子）

新型コロナウイルス感染症は未だに猛威を振るい続けています。同感染症により、大きな影響を受けた欧米各国と比較すると、アジア諸国は総じてうまく対応しているとされており、ASEAN 加盟国の保険業界における同感染症への対応は、危機をデジタル化促進への絶好の機会としてとらえる前向きな姿勢として評価されています。

本稿では、ASEAN の経済および保険市場について概観したうえで、パンデミックにより加速したとされる ASEAN 主要国のデジタル化に係る取組などを紹介します。若年層が多い人口構成や政府の規制による支援などを背景に、急速に促進されている同国のデジタル化に係る取組は、わが国の損害保険業界が今後さらなるデジタル化を進めるうえで参考になると考えます。またその中で、当研究所が日本損害保険協会との共催事業として実施している、日本国際保険学校 (ISJ) の上級コースを受講した、ASEAN 各国の損害保険業界関係者が、それぞれの国・地域における損害保険業界のデジタル化への対応について寄せてくれた情報やコメントも紹介します。

<その他>

◆ **金融・保険市場におけるトピックス**

- 国際・規制動向：「保険監督者国際機構等が「ニューノーマル」に向けて保険監督を再定義」
- 国際・規制動向：「ジュネーブ協会が保険のデジタル化に関する規制上の検討事項を調査」
- イギリス・市場動向：「保険詐欺対策に取り組む業界団体がスタートアップ企業

と提携」

- 米国・市場動向：「2020 年はパンデミックを契機に自動車保険の見直しを行う契約者が急増」
- 米国・市場動向：「エーオンが新型コロナウイルスワクチンの貨物・運送保険ソリューションを提供」
- フィリピン・自然災害：「フィリピン保険庁がフィリピン災害保険ファシリティの設立を要請」

損保総研レポートは、当研究所ウェブサイトより、PDF 形式で無償にて閲覧・ダウンロードいただけます。(https://www.sonopsoken.or.jp/reports/)

本件に関するお問い合わせ先

〒101-8335 千代田区神田淡路町 2 - 9

公益財団法人 損害保険事業総合研究所

研究部 安田

(e メール : kenkyubu3@sonopsoken.or.jp)

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配付しております。

ご参考

損保総研レポート第 135 号 目次

○ASEAN 主要国の損害保険市場の動向

－新型コロナウイルス感染症により加速するデジタル化を中心に－

(執筆者 主席研究員 飯野 由佳子)

《目次》

1. はじめに
2. ASEAN および ASEAN 主要国の保険市場の概要
3. ASEAN 主要国の損害保険市場の動向
4. おわりに

以上